



ふくさき

第99号

議会だより



辻川界わいウォークラリー（10月15日）

9月定例会

2頁

本会議での議案ごとの質疑

5頁

委員会の動き

8頁

一般質問

14人の議員が問う

11頁

17年度一般会計決算及び特別会計決算を認定

歳出総額63億9700万円余、前年度比19.1%(15億790万円余)の減額
歳入は前年度比18.9%(15億900万円余)の減額、実質収支は1億2300万円余

第405回 定例会

本会議二日目(9月11日)に付託された17年度一般会計決算及び特別会計決算4件を審査するため、8名の委員で構成される決算審査特別委員会を設置し、9月13日・14日・15日の3日間、慎重に審査しました。

委員長 難波 靖通
副委員長 後藤ひろ子
委員 北山 孝彦
釜坂 道弘
広岡 史郎
宇崎 寿幸
小林 博
東森 修一
(議席番号順)

17年度一般会計決算状況

(単位：円)

当初予算	6,279,000,000
補正予算	156,000,000
繰越予算	40,400,000
予算現額	6,475,400,000
歳入総額	6,521,580,054
歳出総額	6,397,121,310
歳入歳出差引額	124,458,744
翌年度へ繰越すべき財源	1,000,000
実質収支額	123,458,744

決算審査の内容

九月定例会は、9月8日に開会し、19日間の会期で9月26日に閉会しました。
17年度一般会計及び国民健康保険、公共下水道事業特別会計決算認定など、報告1件、議案24件を審議し、議案は原案通り可決しました。
また、議員提案による意見書案1件を採択し、関係機関に進達しました。
一般質問では14人の議員が行政上の問題点をたずねました。



慎重審議中の決算審査特別委員会

17年度一般会計及び特別会計決算

(単位：円)

	予算現額	決算額			
		収入済額	支出済額	差引残額	
一 般 会 計	6,475,400,000	6,521,580,054	6,397,121,310	124,458,744	
特 別 会 計	清 掃 事 業	69,729,000	68,853,099	68,853,099	0
	国 民 健 康 保 険 事 業	1,625,300,000	1,621,030,608	1,615,828,367	5,202,241
	老 人 保 健 事 業	1,613,220,000	1,607,416,660	1,607,382,686	33,974
	介 護 保 険 事 業	941,450,000	931,198,724	926,178,447	5,020,277
	農 業 集 落 排 水 事 業	245,467,000	238,073,494	238,073,494	0
	公 共 下 水 道 事 業	3,791,681,000	3,158,943,656	3,126,083,656	32,860,000
合 計	14,762,247,000	14,147,096,295	13,979,521,059	167,575,236	

教育委員会委員の
選任

住所

東田原一九〇五番地

氏名

大塚祥子

生年月日

昭和25年6月15日

任期

平成18年10月1日

～平成22年9月30日
までの4年間



決算審査特別委員会の
意見

9月13日、14日、15日の3日間開催された決算審査特別委員会において各委員から出された意見の主なものをご紹介します。

17年度一般会計決算認定

歳入について

・ 町税の収納未済額と不納欠損額合計が2億5千万円で町税調定額の7.5%に達している。
・ 「税の公平負担」の観点からより徴収に努力されたい。

・ 民間ノウハウの職員研修、広域行政での取り組み・徴収方法等徴収対策の検討が必要である。

・ 滞納者の生活実態を把握し、徴収すべき者・減免すべき者の詳細な調査を望む。

・ 5年前に比べ交付税等が約3億円減少しているとのことだが、集中改革プランを十分検討し、時代に適応した行政を進めていただきたい。

歳出について

・ 正職員とアルバイト・嘱託職員の処遇に大きな差がある。

・ 歳出削減に大きく寄与しているといながらアルバイト、嘱託の人数の増加にも問題があり、処遇と仕事における適材適所の検討が必要である。

・ 教育委員会は、目的を持った研修の実施や現場に足を運び、より課題や問題解決に努力されたい。

・ 道路、河川、公園等の管理はボランティア、アドプト等の方策が実施、検討されているが、外部委託にも限界があり、限界のあるものについては直営で実施すべきである。

・ 商工会の再建について、1日も早い再建により、商工業の発展と共に町活性化に大いに貢献されることを期待する。



完成した福崎浄化センター修景施設

・ 町ぐるみ検診・人間ドックについて、今後も検診項目を検討すると共に100%の受診、要再検査者の受診を進め、追跡調査も十分実施願いたい。
・ 春日ふれあい会館の利用者が減少傾向にあるので、活用方法を検討し、利用拡大に努力願いたい。
・ 地元産の安全野菜の学校給食へ導入拡大を推進願いたい。

・ 巡回バスの利用者が40人／日で安定しているが、停留所毎の乗降調査をするなどきめ細かな分析をし、利用者増加対策が必要である。
・ 高齢者のインフルエンザ予防接種は100%実施を願いたい。

・ 平成18年4月から予防接種法が改正され、対象外の年齢層が発生し、接種率が下がる。風疹単独の予防接種を中学女子に復活させてはどうか。



八千種小学校体育館建設現場を視察

・住民の財産を守る観点から、悪質商法や各種詐欺行為から住民を守る事が求められている。

最近では「振込詐欺」「ITによる詐欺」が横行しており、更なる予防と啓発に取り組みでいく必要がある。
 ・健康増進の観点から筋力向上トレーニングを導入し、寝たきりをなくす介護予防のプログラムも導入すべきである。
 ・ごみ処理に住民の関心を深め、不法投棄・ごみのポイ捨ての防止を守った正しいごみ出しができる取り組みが必要である。

17年度福崎町清掃事業 特別会計決算認定

・中播衛生事務組合の施設が10年を経過している。その間各町の公共下水道が進み、し尿から汚泥に投入内容が変化しているため、計画性のある対応を求める。
 ・利用者負担金、町分担金、町債務などを考慮した計画的な事業推進を求める。

17年度国民健康保険事業 特別会計決算認定

・高額療養費が増加している。日頃からの健康管理、食事管理が病気の発病予防となる。このような取り組みの更なる推進を望む。
 ・税の公平負担の観点からも未納保険税の更なる徴収努力を望む。



デイサービスセンターでの介護風景（第1デイサービスセンター）

17年度老人保健事業 特別会計決算認定

・益々高齢化が進む中、健全な運営のための計画の策定が必要であり、広域連合保険制度への移行も検討されている。情報の迅速な収集と議会への報告を求める。

17年度介護保険事業 特別会計決算認定

・介護認定で介護度が軽くなった人からの苦情を聞く。十分説明し、納得していたら、今後、高齢者の増加が予想され、介護総費用も増加するのではないか。そのためには、健康増進、自立生活を支える仕組み・民間活力の活用など地域と連携した取り組みも検討する必要がある。

現地視察

委員会三日目（9月15日）に17年度で事業が実施された工事ヶ所、施設及び審議の際に委員から利用状況等について意見が出された施設の視察を実施しました。



決算特別委員会での現地視察（駅前交通広場）

・駅前交通広場
駅前交通広場の完成により大型バスの駅前までの進入が可能になりました。
 今後、町道駅高橋線、県道甘地福崎線の改良と合わせて福崎駅周辺の道路整備が期待されます。

・町道余田小倉線
（八千種小学校体育館建設工事現場）
町道大貫山田線から余田、小倉集落に接続する町道の改良工事が実施されました。

現在、工事が進められている八千種小学校体育館建設工事は、この道路を進入路として利用しており、工事の進捗

に大きく寄与しています。

・八千種自然活用村
（春日山キャンプ場）

委員から、利用状況について意見が出され、現地調査を実施しました。
 調査の結果、施設は一部に老朽化が見られるが、利用できる状況にあり、活用方法を検討し、利用者の増大を図るよう求めました。

・福崎幼稚園
・福崎南保育所

公共下水道工事の進捗により、接続を完了した施設を現地視察しました。

宅内工事の復旧に一部不具合があったため、早急に改修し、子どもの安全に十分配慮



決算特別委員会での現地視察（八千種自然活用村）

本会議での議案ごとの質疑

今後の教育委員会のあり方

議員 全町の立場に立って広く見識のある人を選任することも必要と思うが、世界や日本でも各地域代表者で物事が検討されている。福崎町は面積は小さいが小学校区は四つ、中学校区は二つあり、福崎西中学校区に教育委員が1人しかいないのは、納得ができないし、住民も同感と思う。

この4年間、全町の立場で教育委員会がどのような日常活動をされてきたのか。

教育長 4年前から私が就任するまでの間の活動については、よく承知していません。

議員 2年前の9月議会で前教育長は、「教育委員会は、学校と教育委員の取り組みを見守り、それを後ろから支える」という趣旨の答弁をされたが、本議会での教育長の先の質問に対する「教育委員会は報告が主である」という趣旨の答弁は、本当に全町の立場に立って議論をされてきたか疑問を抱く。

今後4年間教育委員会の構成のあり方をぜひ考えていた



教育委員会事務局として利用される第2庁舎

だき学校教育・社会教育の問題解決に政策検討をされたい。教育長 今後、0歳児からの教育について、長期的な展望、計画をどう立てたらいいか、考えることになりました。

更に、全町的な視点で教育課題を考えていくには「目で見て耳で聞いて、直接現場へ行く」ことが大事で、積極的に行きたいという議論をされました。

教育委員の推薦には、議員の皆様のご意見を参考にしたいと思えます。

17年度一般会計決算認定について

議員 巡回バスは年間1万5047名、一日実質約20数名の方が利用されている。

運行委託料と補助員の委託料合わせて1050万、1人当たりに換算すると過大な支出と思うが、利用者を増やす今後の計画はどうか。

健康福祉課長 新たな停留所の設置、運行経路で交通広場への乗入回数が増、時刻表等の改正を本年7月1日に行いました。

新交通システムのデマンド方式（ITを活用したデマンド



利用者を増やすための今後の計画は

型乗用タクシーで、従来のバスとタクシーの長所を兼ね備えた公共交通サービス）について検討委員会等で研究を進めています。

議員 デマンド方式を取り入れると費用はどうなるのか。健康福祉課長 費用は格安になるのではと考えていますが詳細は今後検討します。

議員 町外保育児受託運営負担金の岐阜県や東京都内の市からの収入の内容は。

住民生活課長 里帰り出産で住民票が町外の子どもを保育した期間についてその住民票のある市町村から負担金を受け入れたものです。

議員 福崎駅の町営駐車場の使用料が5150円で消費税が3%の時のままと思われるが、引き上げの検討はどうか。

企画財政課長 近隣の駐車場が4000円で、これ以上の引き上げは難しいため、据え置いています。

議員 交通広場の駐輪場ができて、放置自転車対策としての効果は認められるが、有料時間帯（朝6時半から9時まで）の問題はないか。

まちづくり課長 交通広場の収入としてバスの使用料もあり、駐輪場の管理の賃金を抑



整備された町営の駐輪場

えるため、現状でよいと思われず。

議員 年間の交付税の状況が示されているが、13年に比べて基準財政需要額が5億円以上減っているのは、どの部分で減らされたのか。

企画財政課長 平成13年から17年にかけて減っているのは三位一体の影響です。

議員 県内各自治体の公債比率等の資料が示されたが、福崎町も17%位の数字が出ていたが、この数値をどのように評価しているか。

企画財政課長 福崎町は17・5%と発表されましたが、公共下水道の加入の促進等が今

後の重要なポイントと考えています。

議員 国民健康保険の加入世帯3700余りのうち、課税所得100万円未満の方が約50%、所得0の方が27%ということだが、実態をしっかりと分析する必要があるのではないか。

税務課長 国保加入世帯の方の所得低下という状況が増えてきています。

議員 不納欠損をどのように処理したのか。

税務課長 地方税法に基づき行っています。

議員 16年度から比べると大幅に欠損処理が増えているのはなぜか。

税務課長 特に平成10、11、12年度の未収が大きく影響しています。

議員 軽自動車税もかなり滞納があるが、なぜ不納欠損が発生するのか。

税務課長 125cc以下の福崎町ナンバーのバイク等を廃車届けをせずに転売したり処分する人があるためです。



町営田尻団地と駐車場

議員 住宅使用料と駐車場の使用料はどのように請求し、収入処理をしているのか。

住宅生活課長 田尻団地の駐車場は、使用料と同様に納付してもらっています。

議員 住宅使用料と駐車場使用料では条例が違うのに、同一で処理するのはなぜか。

住宅生活課長 予算書では、住宅使用料の中に駐車場使用料と従来の家賃使用料を計上し、処理しています。

議員 滞納者の連帯保証人に対する処置は、どのようにされているか。

住宅生活課長 滞納者によっては、連帯保証人の方にも明細を送付し、納付をお願いします。

議員 町債が17年度は約6億円の発行だが、今後は5億円にしたいと監査委員に報告された真意は。

企画財政課長 集中改革プラン中の財政健全化という点で特例地方債を除いて発行額を原則5億円未満に抑えたいと考えています。

議員 商工会再建への寄付のうち、3000万円は播州信用金庫からの特別寄附、1439万円が個人寄附ということだが、氏名を公表する考えはあるのか。

産業課長 氏名は差し控え、件数だけを公表させていただきます。



再建が進む商工会

議員 商工会振興費の負担金、補助金、交付金のなかで、商工会の一般会計に繰り出されたものは何か。

産業課長 運営補助金6585万2000円、再建助成金640万円、なつ得商品券補助金265万4000円です。

地域づくり助成金で花嫁行列事業に50万円、別途再建特別貸付金として2500万円です。

議員 貸付金の2500万円の貸付の条件について、確認をしておきたい。

産業課長 できるだけ早く町の方へ返すということになっています。

議員 障害児学級助員の賃金は何人分か。

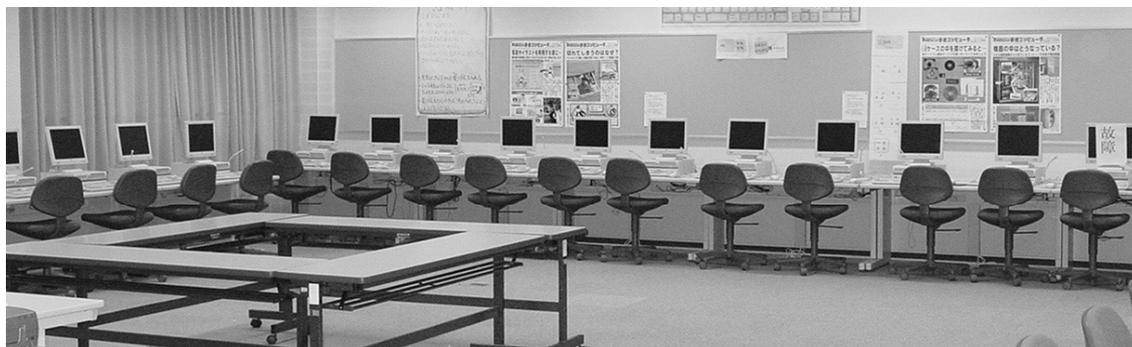
学校教育課長 実績として福崎小学校2名、田原小学校1名、八千種小学校1名の計4名の介助員の賃金です。

議員 生活指導補助員賃金は何の学校か。

学校教育課長 西中学校です。

議員 学校環境衛生調査委託料はシックハウス対策の調査の委託と思うが、調査結果とその対策は。

学校教育課長 ホルムアルデヒド等の環境調査を行った委託料です。



小学校のコンピューター教室（田原小学校）

締め切っているコンピューター室が濃度が高くなる傾向にありましたが、換気の励行を学校へ指示しています。

町道路線の認定 及び廃止

町道等級の全体的見直しを

議員 平成16年度に区長会から「町全体の町道等級見直しを願いたい」との要望が出されたが、町は「見直しを必要とするような事柄に至っておりません」との回答だった。にも関わらず今回、議案が上程され回答と答弁が違っている。

一度、町全体を見直しすることが必要と思うが、どのような認識か。

まちづくり課長 幹線道路の整備に伴い、既存道路の見直しは必要であると思います。

その点については、町全体を見直すというところで、今後、そういう作業にも取り組む必要があると認識しています。事業参事 全町的な等級の見直しについては、計画的に見直すべきところは見直して、具体的な計画を練り直してはどうかと思っています。



一部が見直された町道（八反田地内）

下水道工事請負契約 の5議案について

5件平均落札率 97・9%

議員 通常、予定価格の95%を超えた場合は、談合があったのかどうか、審査も当然されたと思うが、5議案とも同じような入札、落札結果になっている。

町としてどの様に判断し、契約を結ぶことになったのか。企画財政課長 5件とも、談合に関する情報等は一切なく、すべて1回で落札しています。

入札結果の発表

工事番号	下水道公共第9号		
工事名称	北野地区下水道面整備工事（第1工区）		
工事場所	福崎町西田原地内		
入札年月日	平成18年9月4日		
落札業者	進路工業(株)福崎支店		
落札金額	¥110,250,000（予定価格 ¥110,250,000）		
入札経緯	入札者名	入札回入札金額(円)	備考
	株播磨興業	-	下水道公共第7号落札のため
	生田建設(株)	112,000,000	
	播州興産(株)	112,500,000	
	藤澤工業(株)	112,000,000	
	東英建設(株)福崎支店	-	下水道公共第8号落札のため
	株ハマダ福崎支店	114,000,000	
	宗和建设(株)福崎支店	115,000,000	
	進路工業(株)福崎支店	105,000,000	落札消費税5,250,000円
	安室建設(株)福崎支店	115,000,000	
	株高階福崎支店	110,000,000	
	株エコー総合開発福崎支店	116,000,000	
窪田工業(株)福崎営業所	112,800,000		

ただ、結果として、5件平均97・9%の落札率になっています。

しかし、談合は無かったと理解しています。

議員 平均97%以上の落札となったことを、公正取引委員会に報告を考えているか。

企画財政課長 報告は考えておりません。

議員 設計価格を知っている職員は、幹部で何人、担当課で何人か。単価がわかるのは、

町長、助役、事業参事、企画財政課長、下水道課長、課長補佐、係長、担当者です。

議員 この五つの工区については特に苦情が出ない、しっかりとした工事を望むが。

下水道課長 業者に最良の工事をするように指導します。

町長 入札価格は絶対に事前に漏れないようにしています。

今回提出をいたしました議案については、何ら不正はないという想い、確信のもとに提出をさせていただきました。

下水道工事請負契約 の変更

議員 掘削土を再利用せず、

碎石等で埋め戻すことにした理由は。

下水道課長 県道の歩道で在

来土で埋め戻す計画でしたが、粘土質で水分も含み、完全な埋戻、転圧ができない状況でしたので、碎石による埋戻に変更しました。

議員 在来土が公共下水道浄化センター処理場横に積んである。その良質な土砂を使

った方が碎石を購入するより安かったのではないか。

下水道課長 大きな玉石が多く玉石を排除する作業が必要になります。検討の結果購入

土の方が安くつくということになり、碎石で埋戻すること

としました。



委員会の動き

総務文教常任委員会

- 委員長 平岡 武
- 副委員長 東森 修一
- 委員 釜坂 道弘
- 松岡 秀人
- 宮内 富夫
- 吉識 定和

議会閉会中の8月7日と9月1日の2回、委員会を開催しました。

報告事項

8月7日

総務課

- ・第2庁舎改修工事について
- ・8月末の完了予定で、9月から教育委員会事務局が使用するとのこと。

これまで教育委員会事務局が使用していた部屋は会議室として使用すること。

企画財政課

- ・平成18・19年度競争入札参加資格の認定について
- ・平成18年度準町内業者指定状況

平成18・19年度競争入札等参加資格審査申請者の資格認定（工事・コンサル）について

平成18・19年度競争入札等参加資格審査申請ランク付表

	全 体	うち 町 内
工 事 業 者	7 8 7	4 8
コンサル業者	4 2 7	5

	土木工事		建築工事		電気工事		管工事		舗装工事	
	全体	町内	全体	町内	全体	町内	全体	町内	全体	町内
A	182	0	141	0	194	0	202	1	143	0
B	172	5	61	0	79	5	146	16	188	15
C	122	12	114	1	4	2	8	3	46	11
D	53	9	74	7						
E	33	12	14	4						
合計	562	38	404	12	277	7	356	20	377	26

平成18・19年度町内業者工種別内訳

工 事 業 者	48業者
土木	38
建築	12
大工	1
とび・土工・コンクリート	6
石	1
電気	7
管	20
鋼 構 造	2
舗 装	26
し ゅ ん せ つ	1
塗 装	2
防 水	2
機 械 器 具	1
電 気 通 信	1
造 園	9
さ く 井	1
水 道 施 設	18
消 防	1

コンサルタント業者	5業者
建築コンサルタント	3
測量・土木コンサルタ	2

平成18・19年度競争入札等参加資格審査申請の受付（受付期間：平成18年3月1日～3月31日、有効期間：平成18年7月1日～平成20年6月30日）の結果、工事業者が登録数787業者、コンサル業者が登録数427業者です。各業者をまとめた一覧表は、左記のとおりです。

9月1日

総務課

- ・学校法人都築科学学園関係について

8月24日に都築科学学園理事長吉武毅人氏が来庁し、県有地売却の際の条件の変更を県が認めたと報告を受けたとのこと。

○報告の概要

- ・施設の用途
薬科大学を医療系高等教育機関に変更
- ・指定の期日
土地引き渡しの日から3年以内を平成22年4月までに変更
- ・計画施設
（仮称）近畿リハビリテーション専門学校（4年制）
- ・開学予定
平成21年4月
- ・学校施設
既存施設（旧中小企業総合センター）を改装し、利用

・学部学科

- 理学療法学科 80人×4年
- 作業療法学科 80人×4年
- （両学科とも定員は320人）

なお、平成22年4月には

- 言語聴覚士学科 80人×3年（定員240人）

柔道整復師学科

120人×3年（定員360人）

を増設し、最終的に全学科で1240人となる予定。



リハビリ系専門学校が進出予定の中小企業総合センター

民生常任委員会

委員長 広岡 史郎
副委員長 高井 國年
委員 小国 正子
後藤ひろ子
小林 博
富田 昭市

議会閉会中の7月27日と8月29日の2回委員会を開催し、8月1日・2日に行政視察を行いました。

協議事項

公害防止協定に係る協議

片山特殊工業(株)

熱処理用加熱炉設備工事

(株)マンダム福崎工場

ボイラー入替工事

ユシロ化学工業(株)

200Lドラム充填設備設置工事

置工事

大伸化学(株)

空気圧縮機更新、膜分離式窒素ガス発生装置設置工事

委員会として全員賛成で了承。

委員会として全員賛成で了承。

★公害防止協定における協議事項の緩和要望について

今委員会で3回目となる協議を行った結果「協議書の取扱いは従前どおりとするが、可及的速やかに協議に応じ処理をする」とことと決しました。

報告事項

7月27日

水道課 17・18年度の工事執行状況、18年度の委託業務執行状況(水道基本計画の策定業務)について

健康福祉課 町ぐるみ健診受診状況、介護保険事業の17年度の事業実績、いきいきデイサービス事業17年度実績など

住民生活課 7月5日付次世代育成支援対策地域協議会の町立保育所建替に関する報告書の内容、事業計画など

8月29日

住民生活課 4月からの窓口業務延長に伴う書類等の交付状況、8月13日発生の七種山登山者行方不明捜索、第1回国民保護協議会の開催など
健康福祉課 神崎郡障害者介

護認定審査会での審査状況、後期高齢者医療広域連合(平成20年度から創設、現行の老人保健制度は19年度で廃止)など

水道課

18年度工事執行状況、委託業務執行状況、公共下水道接続に伴う水道使用量比較報告など

行政視察

8月1日

目的 水道水の高度浄水処理

場所 滋賀県米原市

内容

逆浸透膜(RO膜)による硬度浄水処理について。

市内山東区域は伊吹山を源とする水脈(地下水)が水源、石灰質で強度の硬水で飲料としては美味だが、生活用水としての軟水化の要望からの硬水処理方法を検討された。

水処理メーカーから提案型見積をとり、東レの逆浸透膜(RO

膜)による処理方法が採用され、平成13年着手、14年度末に完成し、この方式では日本最大とのことです。

原水を低圧加圧し、RO膜を通過させ、CaやMg類を除去して軟水化させるもので、設備、運転経費とも一番安く、薬品の使用も少なく、省資源の意味もあるとのこと。

稼働中の設備見学、原水・処理水の試飲も行い、当町にとつて高度処理は急務とはいえないものの、クリプト菌対策の有効手段として、将来の選択肢の一つと考えられます。

8月2日

目的 介護保険事業のパートナーシップでの取り組み

場所 滋賀県近江八幡市

内容

全国に先駆けた住民とのパートナーシップによる地域密着介護サービスの取り組みについて



米原市の高度浄水処理施設 (8月1日)

最初の取組は平成12年の介護力パワーアップセミナー開講(43人・15回継続受講)が地域内で新しい人材を育てるきっかけになった。引き続き開催された介護相談員養成講座の修了生などが核となり、平成15年から中心市街地での空き家活用事業と相まって、NPO法人による空き家を活用した小規模多機能デイサービスセンターなどが相次いで誕生しているとのこと。また、定年退職者層を対象に「男の料理教室」や「おやじサロン」も開かれ、「終の栖を実感できるまちづくり」をキャッチフレーズに、高齢化時代への対応に関心が高まっているとのこと。当町の介護事業推進の参考となる示唆に富んだ研修でした。

(文責 広岡)

産業建設常任委員会

- 委員長 宇崎 寿幸
 副委員長 福永 繁一
 委員 石野 光市
 北山 孝彦
 難波 靖通
 日野 虔介

議会閉会中の8月3日と8月30日の2回委員会を開催しました。
 6月30日から7月1日にかけて滋賀県近江八幡市を行政視察しました。



委員会での審議 (8月30日)

協議事項

- ・工場立地法の届出
- ・片山特殊工業(株)
- ・合金化製品の増産の為の熱処理加熱炉の設置
- ・(株)マンダム福崎工場

2006年4月に改正された省エネ法改正による老朽化した炉門筒管ボイラーの更新

ユシロ化学工業(株)
 生産効率改善のため、200Lドラム充填設備の設置

大伸化学(株)
 シンナー混合、充填作業をより安全性の高い不活性窒素ガスで行うための装置設置、エアークンプレッサーの更新

報告事項

下水道課
 農業集落排水の使用料と公共下水道の料金体系の調整について各地区で説明会を開催してきましたが、今後は組合長会議を開催していくとのことです。

行政視察



町並みを行政視察 (近江八幡市)

場所

滋賀県近江八幡市

日時

6月30日～7月1日

視察の内容

近江八幡市は、滋賀県のほぼ中央、琵琶湖湖東に位置する面積76・97平方km、人口約6万9千人「湖国文化都市」で、「近江商人発祥の地」として知られ、約400年前に豊臣秀次が城下町として行った「町割り」が現在の街並みの起源であるとされています。

旧市街地には当時の伝統を伝える古い商家と白壁の土蔵が続く街並みが残り、文化的観光資源が豊富にあることから多くの観光客が訪れています。

昭和40年代後半には市内を流れる「八幡堀」の改修・保存を求める市民運動がおこり、それを契機に伝統的な建造物を保存しようという気運が盛り上がり、

昭和51年 伝統的建造物群保存地区保存調査

昭和63年 伝統的建造物群保存地区条例公布

平成2年 八幡伝統的建造物群保存地区決定及び保存計画告示

重要伝統的建造物群保存地区選定を文化庁に申請

平成3年 重要伝統的建造物群保存地区選定告示

といった経過を経て現在に至っています。

近江八幡市も現在、当町と同様の問題を抱えており、JR近江八幡駅と旧市街地が約2kmほど離れており、旧市街地では高齢化が進み、日常生活にも不便を来し、一本通りを入ると「シャッター通り」の状況で、観光客向けの店舗は

あるが、そこに生活する人々が買物をするには不便な状況とのことです。
 「大庄屋三木家」の公有化など保存及び活用をこれからどのように進めるのか、当町と近江八幡市では規模は違いますが、住民の協力のもと魅力あるまちづくりに取り組み「ここに住んで良かった」と思えるまちづくりを目指したいと思います。



現代に伝えられる伝統的な町並み (近江八幡市)

(文責 宇崎)

どうする道路構造令に合致していない危険な道路

問 西治市川線長野橋北詰信号から市川町までの間を県道に格上げすべく要望されているが、現在の見直しと町行政として危険個所等の改善、改良計画はあるのか。

まちづくり課長 西治市川線と県道前之庄市川線の振替は県の意向を踏まえ、現実的な

平岡 武



取り組みを県と連携して進めています。

また町道西治市川線が県道に認定されるまでに町としては県道田口福田線と町道西治市川線との交差点改良を地元区及び地権者と協議し、用地未登記の整理や山側法面の雑木等伐採を早急に進めてまいります。

問 町道として振替られる路線の市川町から田口部落へ向かう峠手前付近は以前からゴミの捨て場となっている。

町道となれば年2回位は草刈り等の実施をしてゴミの捨てにくい状況にすべきと思うがどうか。

問 折角、販売にこぎつけた

「もちむぎ焼酎」だ

大勢のお客でにぎわう「もちむぎのやかた」食堂



「安全で安心なまちづくり」はできているか 三木家住宅の整備計画は

問 安全で安心なまちづくりを目指し、福岡町防

災計画が策定されている。この計画による緊急時における臨時ヘリポートを町民第一グラウンドに指定しているが、救助用具、災害対策用物資機材の輸送のための進入路が整備されていないのはなぜか。

釜坂 道弘



まちづくり課長 道路が狭いのは承知しているが、今のところ計画はありません。

問 この搬入路を整備することにより①災害発生

時の緊急輸送活動が可能になる②「もちむぎのやかた」東駐車場への大型バスの進入が可能になる③第一グラウンド利用が便利になり、トラブルが防げる④地元住民の安全が確保できる。以上の利点が考えられるが町長の考えは。

問 町長 緊急時については、輸送可能な場所を拠点としたい。

問 三木家住宅公有の文献、民具を譲り受けているが、その管理は出来ているのか。

教育参事 定期的には調査を行い、貸出の際はその都度チェックを行っています。

問 三木家住宅の整備計画は進んでいるか。

教育参事 建造物専門委員会とも相談しながら検討を進めています。

問 検討の中で費用はどの位と予想しているのか。

教育参事 全面復旧するには多額の費用も時間もかかるものと考えられます。



が、もちむぎ食品センターには販売許可がない。許可があるのとないのとはどれ位利益に差があるのか。この責任は社長や取締役にあると思う。産業課長 2割程度の差があります。



緊急時の対応は可能か（第1グラウンド進入路）

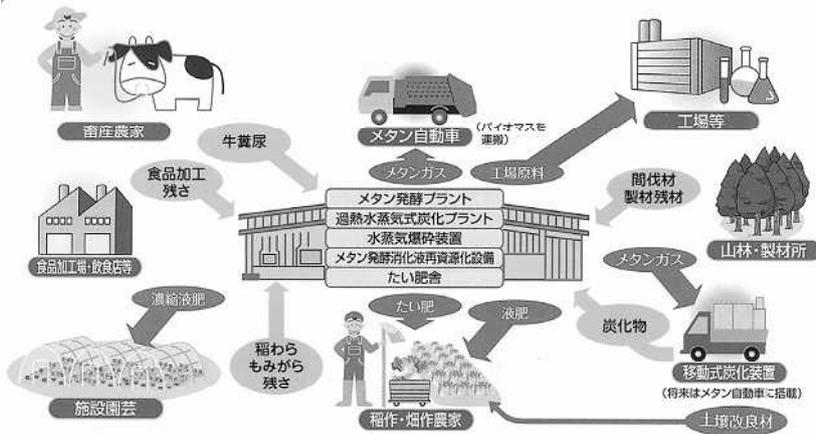
資源循環産業
(バイオマス)タウン構想は
下水道施設周辺整備は
どうなっているか



宮内 富夫

問 バイオマスは食品廃棄物、家庭用生ごみ、廃食油、家畜排泄物、粉殻等の資源を利用して、生物が光合成によって生成した有機物で、飼料・肥料・ディーゼル燃料等が生産されている。

平成18年3月に新たなバイオマス・ニッポン総合戦略が閣議決定され、全国で500市町村を目標にバイオマスタウンの構築を目指している。自然にやさしい町づくりの実



「バイオマスタウン」のイメージ

現に民間活力導入による、バイオマスタウン構想を考えてみてはどうか。産業課長 処理に困っている廃棄物未利用のバイオマスはたくさんあるうかと思いますが、財政状況が厳しく、実施すべき事業が山積する中でバイオマスへの取り組みは困難です。

問 公共下水道浄化センター設置にあたって、地元との周辺整備の約束がされているが、その後どうなっているか。

企画財政課長 確保している土地が不整形であり、地元区の圃場整備事業による道路、非農用地を合わせて考えたいと思います。



取組め！アドプトプログラム
少子化対策への取り組みは



広岡 史郎

問 先般、町づくり青少年健全育成講演会で徳島県神山町の大南氏の講演「アドプトプログラム」が開かれた。目的は何か。行政として受け皿整備を進めるのか。総務課長 神山町へは区長会など3団体が研修に訪問されており、取り組みの起爆剤になればとの思いでの講演で、

具体的な支援計画は今のところ考えていません。講師の期待を裏切らないために行政側として活動保険や企業との支援仲介など「アドプト」支援整備を図るべきではないか。

町長 講演を依頼した内容全ての実行には無理があります。

問 サルビアプランで少子化対策がよく見えない。具体的施策はなにか。

住民生活課長 子育て支援、住宅施策、小児医療施策、企業の支援などが考えられます。

問 今の住宅施策・建替は高齢者対策の意味合いが強い。若者向け町営住宅建設は考えられるのか。

住民生活課長 今のところ考えていません。



アドプト事業で整備された植樹帯（東大貫中島線）

問 長野県下條村では様々な財政節約を行って9年前から毎年1棟ずつ若者向け住宅を建設し少子化対策に成功している。財源が無いとの言い訳ばかりでなく、頭を使っ、参画と協働の汗を流せば開ける道はあると思うが。町長 中学3年までの医療費無料化施策とあわせれば人口増につながると思うが、やはり交付税削減で財政的余裕はありません。

早急な対応を



小国 正子

雨水対策・環境教育の推進 学校給食にもっと地元食材を もちむぎ食品センターの振興



石野 光市

問 ①福岡駅踏切遮断機際
の歩道整備②駅舎への
入口の一部をバリアフリーに
改修③駅前区の防火水槽に蓋
(緊急時使用のため一部に開
閉蓋を設置)を設け防火水槽
の上を使用可能になど、要望
を重ねてきたが現況は。

まちづくり課長 ①歩道設置
の件はJR福岡鉄道部・県福岡
土木事務所と調整中で、現時

点では詳しくお答え出来ませ
んが、今後も関係機関と調整
を図りつつ実現に向け努力し
ます②最近も要望は行ってお
り、話し合いの中で解決の可
能性はあるのではと感じてい
ます。今後も早期実現に向け
要望します。

住民生活課長 ③ご指摘の防
火水槽は駅前区が維持管理を
行っており、整備も
地元区で検討をお願
いします。

問 駅前広場は町
の西の玄関口
と位置づけ、区のみ
での対応は経費の面
から考えてどうかと
思う。町としての取
り組みを望むところ
ですがご見解は。

企画財政課長 町の
補助金交付規則では
自治会公共施設整
備事業として査定事
業費10万円以上で事
業費の20%以内とし
て、最高限度額10

有効利用が望まれる福岡駅前の防火水槽



問 町内でも農地の減少や
道路、各種敷地内の舗
装の増加により、雷雨や豪雨
による各種排水路の水位の急
激な上昇や溢水等の危険度は
増しています。地下水の涵養
の面からも建物、敷地内に降
った雨水を備蓄し、活用した
り、建物の樋に集められた雨
水を地下水の補給のために地

0万円の枠内の補助金となっ
ています。



問 給食費滞納額は依然減
じず現状の解決は困難
PTAと協力体制の下(精査
の上扶助代替後)未収金の多
い校区は公平性の点から集金
制度の復活を提案するがどう
か。

問 給食センター
の食材として
の地元産の農産物の
活用をはかることは
安全でおいしい給食

教育長 納めていただくため
にどう対応すべきか検討を行
い、努力します。

下で碎石を有効に配置したり
して敷地内から排水路に流れ
込む水量を抑制する取り組み
が提唱されています。

図書館駐車場でも透水性舗
装がされていますが、今後の
更なるこうした取り組みへの
研究、検討は。

学校教育課長 環境
にやさしい施設は環
境教育にもつながる
と考えます。建設中
の八千種小学校体育
館駐車場でも透水性
舗装を予定していま
す。

まちづくり課長 個
々の建物等での取り
組みも広がれば効果
が期待でき、中長期
的には透水性舗装が
基本となるのではな
いかと思われま

問 給食センター
の食材として
の地元産の農産物の
活用をはかることは
安全でおいしい給食

教育長 納めていただくため
にどう対応すべきか検討を行
い、努力します。

問 もちむぎ食品センター
で今年「たい焼き」
が開発された。更に実演販売
に適した商品の開発の考えは。
産業課長 指摘の内容も踏ま
え、今後の商品開発に取り組
んでいきたいと思

の提供の面からも農業の振興
の面からも重要です。
今年度、今後の取り組みは。
学校教育課長 今年度、もち
麦、ピーマン、じゃがいも、
玉ねぎ、と枠を広げています。



「もちむぎたい焼き」実演販売

中心市街地活性化について 学校教育について



北山 孝彦

問 都築科学学園が平成21年4月開学とのことだが間違いはないか。

答 まちづくり課長 開学予定はその通りで、名称は仮称ですが近畿リハビリテーション専門学校です。

今後、設置認可等の手続きをするものです。

問 大学と専門学校生が福崎駅を利用すれば、駅



専門学校開校に伴い混雑が予想される福崎駅前

周辺の混雑が予想され、今後駅西開発に取り組む必要があると思うが、どうか。

答 まちづくり課長 今後の具体的な動向を見極めた上で計画策定の再開を検討します。

問 七種川のJR播但線より上流で護岸工事が進められているが今後の取り組みはどうか。

答 昨年の下流側に続き上流側でも土砂浚渫作業の実施を県に強く望むがどうか。

問 まちづくり課長 護岸工事は継続して11月頃より着手の予定です。土砂浚渫作業は県に要望します。

問 中学校の運動部が活躍をされているが、更に発展させるため個人競技の部を作っては、

答 学校教育課長 生徒数が減少している状況で部の数を増やすことは困難です。

業績志向型・法令遵守型組織の構築を



高井 國年

問 一年半前に提案したIP電話も即導入して頂きましたが、今から国挙げての取り組みになろうとしています。福崎町も職員、住民の方の知恵、知識を出し合って益々事業・事務経費の節減に努力して頂きたい。

答 前年度に比べ17年度は歳入歳出の規模が小さくなっている様ですが、一般、特定財源の収入未済額が負担になると思います。不納欠損へ悪循環にならない様抜本的な対応策が必要だと思います。

問 ニューパブリックマネジメントの基本（顧客主義・成果主義・現場への権限の委譲・競争原理）を研究し、業績志向型、法令遵守型（評価指標導入・内部監査の活用等）の組織を構築する事も視野に入れ「公私協働」民間資金活用事業、指定管理者制度等を研究して部分的に導入するなどして財政の有利性を見出せないか。

答 町長 研究します。



問 生徒の自主性を尊重した部活動に配慮するよう学校に助言します。

答 学校だけでなく町全体で子ども達を育てるまちづくりを推進してはどうか。

問 町長 地域が子ども達を育てる教育力の向上が大切で、地域の教育力を盛り上げるため教育委員会と共に啓蒙活動に力を注ぎたいと思います。



今後の行政運営は

問 合併論議を終えた今、今までの将来構想のみでなく、総合的な視野に立ち、政策能力の向上、政治的改革に挑戦し、人材経営の視点で新たな人事の活性化を図り、福崎町独自の自治体改革を進め「末端行政機関」ではなく、政策・評価・経営能力を育み「先端行政機関」として将来につないで欲しい。

答 町長 努力します。

格差社会から住民を守る
教育・防災・医療福祉行政を



小林 博

問 格差社会が福岡市民にも深刻に影響していることが決算でも顕著になった。住民生活を守ることが強く求められる。

広がる格差が家庭の教育力に影響していく恐れがある。すべての子どもに基礎学力と社会人としての生活習慣を保障していくために格別の努力

が必要になる。

教育委員会の取り組みは。教育長 幼児教育を含め検討しています。

問 防災対策①市街化区域を中心とした宅地化が進みその結果、緊急自動車も入らな

い等交通や雨水排水、日照・通風など問題が深刻化している。市街化区域は宅地化を誘導するものとして設定されており環境整備は行政の施策に負うところが大きいが環境整備に関する制度が少ない。行政としての対策を進めていくべきだ②集中豪雨で災害出動があるのは決まった所が多い。排水路整備等具体的対策を求める③町及び民間の調整池の管理についても再点検を求める。

まちづくり課長 ①

まちづくり課長 ①

今後の福岡市の財政は



宇崎 寿幸

問 平成17年度決算報告では、普通会計歳入65億4392万4千円、歳出64億1946万5千円で歳入・歳

出差引額は、1億2445万9千円の黒字だが、前年度の実質収支は1億3421万1

千円で、単年度収支は107

5万2千円の赤字である。平成17年度末の借入金（借金は、いくらか

企画財政課長 平成17年度末の借入金は、約170億8700万円です。

問 1人当たりの借金はいくらか。



企画財政課長 福岡町の人口は、約2万人なので1人当たりの借金は、約85万円になります。

問 平成15年度の1人当たりの借金は、69万8千円、平成16年度は78万円

で益々借金が膨大し、財政にひずみが生じ始めている。 嶋田町政になり、過去5年間で、滞納（不納欠損）の処分はいくらか。

税務課長 全てを含め約7598万円処

分しました。

問 公平な徴収を行うために滞納者にどのような対応をされるのか。

税務課長 これから徹底した徴収を行い、悪質な場合は法的な処置を行います。

問 給食費の徴収が振込に変わったため、滞納が増加しているが徴収の方法を再検討してはどうか。

教育長 再度、PTAと協議を行います。



災害への備えは万全か？（福田川）



八千種小学校鼓笛隊

ふくさき フォトニュース



吉田コスモスまつり（10月15日）



国体炬火リレー（9月23日）



ふくさき50祭り屋台大集合（10月7日）

第99号 平成18年11月2日
(2006年)

発行 兵庫県福崎町議会
編集 議会広報編集委員会

〒679- 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1
2280 TEL (0790) 22-0560
FAX (0790) 22-2342
e-mail gikai@town.fukusaki.hyogo.jp

印刷 中井総合印刷株式会社

この広報誌は再生紙を使っています。

本年は、福崎町及び住民にとつて記念すべき年となりました。
福崎町、田原村、八千種村の1町2村が合併して50周年、また国体が50年ぶりに兵庫県で開催されました。
国体事業は神崎郡内8会場で一親子バレーボール競技が行われ、90チームが参加し、盛会裏のうちに終了しました。福崎町では3会場で競技が行われ、20チームが参加、健闘しました。
この半世紀（50年）を振り返り、これを糧として、参画と協働により新たな町づくり「福が咲く町福崎町」のスタートとなるよう住民の皆様とともに頑張りたいと思います。

